P3F1-A098-01

PRIMERGY WebServer 使用上の注意

このたびは、弊社の PRIMERGY（プライマジー） WebServer をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。本サーバをご使用になる上での注意事項がございますので、本書をよくお読みの上ご使用願います。

平成 13 年 8 月
富士通株式会社

留意事項

- **「ハードウェア構成ツール起動フロッピー」を使用する際の留意事項（Remote Control Setup ユーティリティの起動（取扱説明書：P317））**

ハードウェア構成ツール起動フロッピーをご使用になる前に BIOS の設定を変更する必要があります。また、Remote Control Setup ユーティリティのご使用後、変更した BIOS 設定を復旧する必要があります。設定変更および復旧方法は「BIOS Environment Support Tools による BIOS 情報の退避」（取扱説明書：P114）の注意書き『「ハードウェア構成ツール」使用前の設定の変更』および『「ハードウェア構成ツール」使用後の設定の復旧』をご覧ください。

誤記訂正

- **梱包物について**

取扱説明書およびセットアップガイドに記載されている梱包物以外に「使用許諾契約書」が追加添付されております。

取扱説明書：P12 「梱包物の確認」

タイプ	名称	備考
	□ 使用許諾契約書	1部

セットアップガイド 「梱包物／添付品の確認」

本サーバのマニュアル
□使用許諾契約書

- **「ハードウェア構成ツール起動フロッピーディスク」について**

下記の項目において記述に誤りがあります。

- BIOS Environment Support Tools による BIOS 情報の退避（取扱説明書：P116 手順1および3）
- BIOS Environment Support Tools による BIOS 情報の復元（取扱説明書：P117 手順1および3）
- フロッピィディスクドライブのクリーニング（取扱説明書：P282 手順1）
- イベントログ採取プログラム（Event Log Viewer）の使用方法（取扱説明書：P297 手順1）
- Remote Control Setup ユーティリティの起動（取扱説明書：P317 手順1および3）

誤）ハードディスク構成ツール起動フロッピーディスク
正）ハードウェア構成ツール起動フロッピーディスク

● **「ハードウェア構成ツール起動フロッピーディスク」のメニュー画面について**

取扱説明書およびセットアップガイドに記載されている「ハードウェア構成ツール起動フロッピーディスク」で起動した場合の「MS-DOS 6.2 Startup Menu**」のメニュー画面に「**4.Basic(Japanese Environment)**」が追加されております。**

取扱説明書:

- BIOS Environment Support Tools **による** BIOS **情報の退避**(**取扱説明書**:P116)
- BIOS Environment Support Tools **による** BIOS **情報の復元**(**取扱説明書**:P117)
- **フロッピィディスクドライブのクリーニング**(**取扱説明書**:P282)
- **イベントログ採取プログラム**(Event Log Viewer)**の使用方法**(**取扱説明書**:P297)
- Remote Control Setup **ユーティリティの起動**(**取扱説明書**:P317)

セットアップガイド:6 システム設定情報を退避する

● **フロッピィディスクドライブのクリーニングについて**

フロッピィディスクドライブのクリーニングの実施方法(**取扱説明書**:P282)**において記述に誤りがあります。(手順1～3)**

誤)

1. **ハードディスク構成ツール起動フロッピーディスクをセットし、電源を投入します。**
   次の画面が表示されます。
2. **「**1.Basic(BIOS Environment Tools)**」を選択し、**[Enter]**キーを押します。**
   DOS **プロンプトが表示されます。**
3. **以下のコマンドを入力し、**clndsk.exe **を実行します。**
   A:¥>clndsk 1 [Enter]

正)

1. **ハードウェア構成ツール起動フロッピーディスクをセットし、電源を投入します。**
   次の画面が表示されます。
2. **「**4.Basic(Japanese Environment)**」を選択し、**[Enter]**キーを押します。**
   DOS **プロンプトが表示されます。**
3. **以下のコマンドを入力し、**clndsk.exe **を実行します。**
   A:¥>clndsk 0 [Enter]